冬 vol.43

附属図書・芸術資料館だより

2024 年 1 月発行

～HIEMS～

沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館
沖縄県那覇市首里当蔵町 1-4
TEL：(098)882-5038
FAX：(098)882-5068
http://www.lib.okigei.ac.jp/lib.html

月刊誌『青い海』（復刻版）を見る・読む・感じる

小西　潤子

沖縄本土復帰を目前にした 1971 年 4 月、沖縄の若者のための「広場」として創刊された月刊誌『青い海』。高校生や大学生が語った進学や就職、恋愛や友情の悩みや日常生活、教員や著名人が書いたエッセイなどを編んだこの雑誌は、1985 年 9 月まで発行された。ちょうど日本本土では、プラザ合意によってバブル経済が誘発された頃である。執筆者には、大城立裕（作家）、上原直彦（放送業界）、大宜見小太郎（俳優）、儀間比呂志（版画家）、金城次郎（陶芸家）、西銘順治（政治家）ら、錚々たる顔ぶれが名を連ねている。

この『青い海』復刻版全 145 冊と別冊 1 および『青い海』解題・総目次・執筆者索引が、2022 年 10 月から 2025 年 11 月にかけて、沖縄本土復帰 50 周年記念として三人社から出版された。松下博文は「解題」で、『青い海』が刊行された時期の沖縄を人の成長に譬えて「0 歳から 10 代半ば、雑誌のイメージカラーと同様に生命力にあふれていた」と述べる。そして、『青い海』は「離島、青春・沖縄戦、音楽、祭り、新聞、コザ、宮古、八重山、『混血児』、豚、廃校、中国、水、絵画、墓、郷友会、性風俗、沖縄口、洋舞、そば、県政、琉球弧、観光、女性」をキーワードとして、「チャンプルーにしてハイブリッドでにぎやかで混沌としたメディア媒体として機能」していたと指摘する。

ぜひ手に取ってみたいと思われた皆さん、2023 年 11 月、附属図書館に『青い海　解題・総目次・執筆者索引』（参考資料扱い）と第 1 回配本『青い海』第 1 号から第 22 号（地下書庫）に収蔵されたのである。創刊号巻頭言には、「人間いかに生くべきか―などとヤボなことはいいますまい。より豊かな、あなたの今日と明日のために、共に考え、共に喜びや悩みをわかち合いたい」という、創刊人かつ初代編集者の津野創一の言葉が記されている。これは、現代を生きる私たちにも、豊かな今日と明日をもたらすであろう。ぜひ、附属図書館所蔵の『青い海』を見て、読んで、感じてほしい。

（音楽学部　音楽文化専攻　音楽学コース　教授）

・『青い海』復刻版　1～22 巻…所蔵場所：地下郷土　請求記号：291/A52

図書館からのお知らせ

2023 年度の本の最終返却期限は、

2024 年 3 月 1 日(金) となっております。

今年度で県立芸大の所属から離れる方(卒業･修了･雇用期間満了など)は、

返却忘れの本が無いか、必ず確認をお願いいたします。

トリセツ！Library

今と昔の著作権

皆さんは、図書館でコピーをしたことがありますか。レポートや論文を書く時に、一度は利用したことがあるかと思います。

　でも実はこのサービスは当たり前のものではありません。図書館に収められている資料には、一部を除いてほとんど全てに「著作権」があるからです。図書館ではたくさんの制限をもうけて、著作権者の許諾なしにコピーができるようになっています。

　著作者の権利も、図書館でコピーができる権利も、同じように支えているのが「著作権法」です。「著作権法」は改正を繰り返し、今は著作物の保護期間は 70 年ですが、少し前までは 50 年でした。今回は時代とともに変わってきた著作権と、それが図書館でどう関わってくるかをご紹介します。

・著作権の保護期間―現在

図書の著作権の保護期間は、1971 年以降長い間、著作者の死後 50 年間でした。しかし 2018 年の法改正により、死後 70 年間になり、20 年引き延ばされました。2018 年時点で著作権が切れていない著作物は全て、最短でも 2038 年まで保護期間が切れないことになります。

1971 年　　2018 年

著作物の種類	公表名義の別	旧法による保護期間	昭和45年(1970年)法(昭和46年(1971年)1月1日施行)制定後の保護期間	平成8年(1996年)著作権法(平成9年(1997年)3月25日施行)改正後の保護期間	平成15年(2003年)著作権法改正(平成16年(2004年)1月1日施行)後の保護期間	平成28年(2016年)著作権法改正(平成30年(2018年)12月30日施行)後の保護期間※5
映画・写真以外の著作物（小説、美術、音楽、建築、コンピュータ・プログラムなど）	実名（生前公表）	死後38年間	死後50年間			死後70年間
	実名（死後公表）	公表後38年間	死後50年間			死後70年間
	無名・変名	公表後38年間※2	公表後50年間※3			公表後70年間
	団体名義	公表後33年間	公表後50年間※4			公表後70年間
写真の著作物	－	発行又は創作後13年間	公表後50年間	死後50年間		死後70年間
映画の著作物（独創性のあるもの（劇場用映画など））	実名（生前公表）	死後38年間	公表後50年間		公表後70年間	
	実名（死後公表）	公表後38年間	公表後50年間		公表後70年間	
	無名・変名	公表後38年間	公表後50年間		公表後70年間	
	団体名義	公表後33年間	公表後50年間		公表後70年間	
映画の著作物（独創性のないもの（ニュース映画、記録映画など））	－	発行又は創作後13年間	公表後50年間		公表後70年間	

・https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/93726501.html（文化庁　令和５年度著作権テキスト　保護期間　より）

※例えば藤田嗣治さん(1968 年に死去)は、死後 50 年間著作物が保護されるはずだったので、2018 年に保護期間が終わる予定でした。しかし保護期間がちょうど終わる 2018 年に法改正により保護期間の 20 年延長が適用された為、保護期間が継続、2038 年まで保護されることになりました。

では、著作権が切れる（保護期間が終わる）とどうなるでしょうか？
作品はパブリックドメインとなり、誰でも複製、転載等ができるようになります。

保護期間が短いと、下図の写真家のように存命しているにも関わらず、自分の作品が保護されないというようなことが起きてしまいます。

Copyright Q&A 著作権なるほど質問箱 No.0000197

Q. 私は写真家ですが、昭和30年（1955年）に写真誌に掲載された私の写真は現在保護されているのでしょうか。

写真の著作権 ｜関連用語： 旧法の保護期間等との調整

著作権は遡及しない！！

A. 著作権は消滅しており保護されません。

現行著作権法では、著作権の保護期間は、原則として著作者の死後50年まで保護されると定められており、写真の著作物についても同様の取り扱いがされております（第51条）。しかしながら、現行著作権法は昭和46年（1971年）1月から施行されましたが、一旦消滅した著作権は復活しないとの考えの下に、現行法の施行時に旧著作権法の保護期間が満了している著作物は、現行法の適用がないとの調整規定が設けられました（附則第2条）。旧著作権法では、写真の保護期間は原則として発行後10年と定められていたため、昭和30年に雑誌に掲載された写真の著作権は昭和40年（1965年）末に消滅しており、現行法に乗り移ることができません。なお、当時は新著作権法の準備中で、写真の保護期間も50年に改正する方向で進行中でしたが、時間切れによる権利消滅を防ぐために、2回に分けて写真の保護期間の暫定延長措置がとられ最終的に発行後13年まで延長されましたが、結局昭和31年（1956年）までに発行された写真の著作権はすでに消滅していることになります。

・https://copyright-qa.azurewebsites.net/Qa/0000197(Copyright Q&A 著作権なるほど質問箱)

これは写真の著作権の保護期間が、1971年以前の旧法で「発行または創作後13年間」という非常に短い間しか保護されなかった為です。その後著作権法が改正され保護期間が延びても、「一旦消滅した著作権は復活しない」のでこの著作権は消滅したままとなります。

皆さんの将来の作品を保護する著作権法。
図書館でのコピーが基本的に1冊（1著作物）の半分までしか許されていないのも、著作者の権利を守るためです。もどかしいこともあるかもしれませんが、昔の短い期間の保護と比べると、現在の著作権法の方がより良いと思います。
著作者と図書館利用者の権利をどちらも守りつつ、正しく図書館を利用していきましょう。

附属図書・芸術資料館　利用統計（10月～12月）

【図書館】

開館日数		60日
来館者数		1106人
貸出数	学生・院生	926点
	教職員	169点
	合計	1095点

【芸術資料館】

展示室利用日数	70日
展覧会数	9件
入館者数	2297人
平均入館者数	255人/日

芸術資料館　展示スケジュール（1月～3月）

※最新情報は HP をご確認ください　https://www2.lib.okigei.ac.jp/lib/lib.html

開催期間	展示内容	出展者	展示会場
1/6(土) ～ 1/11(木)	りょうの物語　展	デザイン専攻	第1展示室
	陶展　あかぎれ	工芸専攻	第2展示室
	絵画専攻3人展-白亜紀-	絵画専修	第3展示室
1/17(水) ～ 1/21(日)	工芸専修1年研究発表展	工芸専修	第1展示室
	鈴木まこと　学位審査展覧会	芸術文化学研究科	第2～第3展示室
1/23(火) ～ 1/24(水)	卒制撮影	絵画専攻	第1～第2展示室
1/27(土) ～ 1/31(水)	工芸専攻3年生展	工芸専攻	第1～第3展示室
2/10(土) ～ 2/15(木)	彫刻専攻3年生、院1年生展	彫刻専攻	第1～第3展示室
3/6(水) ～ 3/10(日)	写真2年生展	デザイン専攻	第1展示室
	根路銘まり　第2回研究展覧会	芸術文化学研究科	第2～第3展示室
3/14(木) ～ 3/18(日)	日本画院生　成果展　2024	絵画専修	第1展示室
	喜納祥子　個展（仮）	絵画専修	第2展示室
3/23(土) ～ 3/27(水)	山脇・仲井二人展 羽瑜にまどろみ菟瑠とおどる	絵画・彫刻専攻	第1展示室
	嘉数翔　第1回研究展覧会	芸術文化学研究所	第2展示室
	岡本・城間二人展（仮）	デザイン専攻	第3展示室

図書館　開館カレンダー（1月～3月）

□ 通常開館【9:00～20:00】　■ 短縮開館【9:00～17:00】　■ 閉館

2024年1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1日：元旦
2～3日：年始休館
8日：成人の日
9日：後学期後半授業開始
◆13～14日：大学入学共通テスト

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

◆3～4日：大学院造芸研入学試験（2月）
5～22日：後学期2月集中講義
11日：建国記念日
12日：振替休日
23日：天皇誕生日
◆25～27日：入学試験（前期）

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1～31日：春季休業
4～6日：大学院芸術文化学研究科入試
◆11日：入学試験準備
◆12～14日：入学試験（後期）
18日：卒業・修了式
20日：春分の日
31日：後学期終了
15～31日：館内整理期間

図書館システム入替の為、開館時間の変更や急な休館などがある場合がございます。
図書館 HP 等で最新情報をご確認ください。